

# 中西とも子



## ●中西とも子事務所

〒562-0001 箕面市箕面 2-1-34 ☎&📠 072-725-8351  
✉ minonet-tomoko@nifty.com

中西とも子 検索



## ブレずに走りつづけて16年 生きづらい社会を変える！



### なれ合い議会を、変えたい！

市長提案には何でも賛成。逆に市民からの請願には反対する、  
というのでは議会本来のチェック機能は果せません。中西とも子は、  
是々非々で納得できない問題は、徹底的に議論し、対案を示してきました。いま求められるのは、市民の  
暮らしに向きあった「深みのある議論」と「政策提案できる力」。中西は議会をしっかりと引っ張っていきます。



### コロナの時代、誰ひとり置きざりにしない箕面に

医療従事者、飲食業はじめ店舗や商業施設他の想定外のコロナ禍の影響はいまでもありませんが、コ  
ロナ以前から、弱い立場に置かれていた方々の窮状が、さらに浮き彫りになりました。子どもや女性、ひとり親、  
障害者、高齢者、非正規労働者、外国人らの孤立を防ぎ、寄り添う相談窓口、心のケア対策を強化します。  
各現場への丁寧な聴き取りで、教育や福祉、社会保障施策の充実をはかります。



### 市役所の「本来の役割」をとり戻す

#### 開発の陰で、福祉・社会保障が後退⇒しっかり歯止めを！

北急延伸や関連施設の建設費、阪大誘致のための跡地購入費ほか、箕  
面市の財政規模を考えると大きな買い物。そのあおりで福祉や社会保障にかけねばならない予算が圧縮さ  
れています。今後、市立病院の建て替え、小学校建設、レジャー型屋外プール&温水屋内プールも建設予  
定。プールについては一旦保留にし、民間や近隣市の施設を活用することを検討するべき。

市の役割は「住民の福祉の向上」にあります。また住民自治を進めるために、行政・市民が対等な立場で  
協力しながらまちづくりが進むよう、「市民参画の協働のまちづくり」への転換が大切です。

#### 「公の業務」の担い方を見直す

民間に委ねてサービス後退、市直営が望ましいものや、非正規雇用が増えたことについて検証が必要です。



### 人にも自然にも優しい暮らしを

食の安全、化学物質過敏症や香害対策、市が「気候変動非常事態宣言」を  
行うこと、健康被害が心配されている5G基地局設置の規制条例を提案します。  
便利なものを追及することは、何かを失うことにも。暮らしを見つめ直し、未来に  
つなげる“豊かさ”を考えていきたい。



### 子育て・子育て支援、生きる力を育む教育を

子どもの貧困対策には、親の支援が必要です。DV被害者支援、虐待の背景に  
ある課題にアプローチすることで、根本的な問題解決を促します。

また暑さ指数28℃問題に見られるように、「上からの押し付け」ではなく、現場の声を聴く体制を。  
コロナ禍で、小人数学級授業が一部、実現。教室数の問題を工夫でクリアし、可能な限り追求します。  
教員の業務改善を提案。テスト漬けではなく、多様な子どものニーズや個性を伸ばす教育体制を。  
オンライン授業は丁寧に進め、格差を広げないための最大の配慮が必要。また一方で、不登校や個々の  
事情で登校できない子どもは、希望すればいつでもオンラインで授業参加ができる体制をつくれます。



パキスタン・アフガニスタンで活動するNGO「ベシャワール会」の現地代表だった、在りし日の中村哲さんと



### 市民が元気になるための処方箋を、しっかりと

高すぎる国民健康保険料、介護保険料は、市の繰り入れで減額を。手話言語条例、  
障害者差別禁止条例の制定で、みんなの意識を変えていきましょう。認知症対策、  
介護される人、介護する人・介護従事者さんへの支援を進めます。

また公共交通(オレンジゆずるバス)は、移動の自由を守る大切な足。路線を増やし、  
増便を強く求めます。

#### 協働・循環型のまちづくりを進めます

支え合い、共に生きる仕組みや制度、誰でも“誰か”に寄り添うことで、  
自分も元気になれる。地域に多様な人たちが集える「居場所」を充実させます。



#### プロフィール

■1955年12月生まれ／京都女子高校・関西大学文学部卒／在学時に「地域に開かれた大学」にしようと「公開自主講座」を主宰。新聞でとりあげられ好評を博す／「(株)ニッセン・ホールディングス」元社員／元「市民オンブズ箕面」顧問、情報開示請求・住民監査請求・裁判を通して、第三セクターへの市の不当支出やいい加減な行政体質を厳しく追及・正してきた

■2004年8月、箕面市議会議員初当選。現在4期目／無所属(政党や大きな組織、宗教団体には所属せず)／母を87歳、父を99歳で看取り、介護経験を政策提案に活かしてきた／高齢社会をよくする女性の会・大阪運営委員、反原発自治体議員・市民連盟関西ブロック議員、自治体議員による気候非常事態共同宣言の会賛同人／東北被災地の子どもやご家族を招く保養キャンプ活動、子ども食堂の運営にも個人的に関わっている

■趣味は山歩き、スキー、キャンプ、生け花、ガーデニング、パステル画など